

令和6年度 技術情報第1号

かんきつ、落葉果樹（なし、かき、キウイフルーツ等）
果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）

令和6年7月30日
静岡県病虫害防除所長

果樹カメムシ類の餌となるヒノキ・スギ球果の着果量が平年より多く、球果における本虫の寄生数が平年より多くなっています。今後、本虫の飛来に注意し、ほ場で発生を確認したら直ちに薬剤防除を行ってください。

1 発生状況

- (1) ヒノキ・スギ球果の着果量（指数）は、県平均7.1（平年4.4）と平年より多かった（図1、図2）。なお、本虫は球果を餌として増殖するため、着果量が多いと本虫は増えやすくなる。
- (2) ヒノキ・スギ球果における本虫の平均寄生数は、10結果枝あたり6.3頭（平年2.3頭）と平年より多かった（図3）。
- (3) 県内6か所のフェロモントラップにおける7月1～20日の合計誘殺数の平均は、352頭（平年318頭）と平年よりやや多かった（データ省略）。なお、本虫の内訳は、チャバネアオカメムシが338頭（平年310頭）、ツヤアオカメムシが4.9頭（平年4.7頭）、クサギカメムシが9.8頭（平年3.0頭）であった。
- (4) 名古屋地方気象台による1か月予報（令和6年7月25日発表）では、降水量はほぼ平年並だが、気温は平年より高いため、本虫の発生を助長する。本虫が急増し、ヒノキ・スギ球果を吸い尽くすと、新たな餌を求めて果樹園へ早期に飛来し、果実を加害する恐れがある（図4）。

2 防除対策

- (1) ヒノキ球果での本虫吸汁痕数をもとにした予測式（堤、2003）によるヒノキからの離脱予測日（果樹園への飛来予測日）は、9月5～10日頃（地域により異なる）と予想される。ただし、吸汁痕数が最も多い地点での飛来予測日は8月29日頃と予想される。
- (2) 本虫の飛来に注意し、ほ場で発生を確認したら直ちに薬剤防除を行う。成虫の移動範囲は広いので、地域での一斉防除が効果的である。ヒノキ・スギ林の隣接地域（特に中山間地）や台風通過後の園地では、急激に発生が増加する場合があるので注意する。
- (3) 薬剤防除については、静岡県病虫害防除所による「[静岡県農薬安全使用指針・農作物病虫害防除基準](#)」を参照する。なお、薬剤の選択に際しては収穫前日数に注意する。
- (4) [静岡県病虫害防除所ホームページ「害虫誘殺グラフ」](#)では、本虫に関する各種情報（予察灯及びフェロモントラップにおける発生状況、ヒノキ・スギ球果の着果量、球果における寄生数、ヒノキ球果での吸汁痕数、果樹園への飛来予測日等）を随時提供しているので参照する。

3 防除上の注意点

不明な点については、病虫害防除所、農林技術研究所果樹研究センター、農林事務所等の指導機関に問い合わせる。

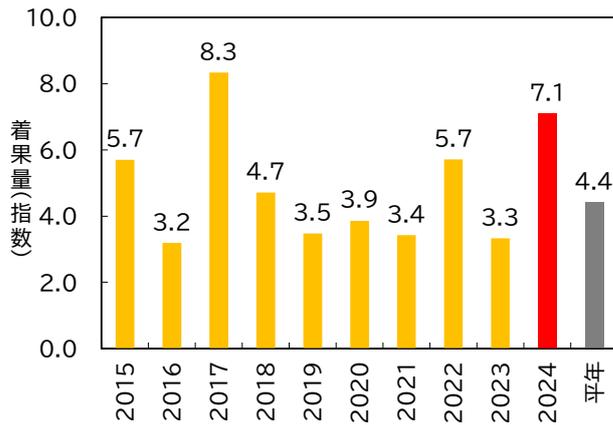


図1 ヒノキ・スギ着果量の年次推移(県平均)

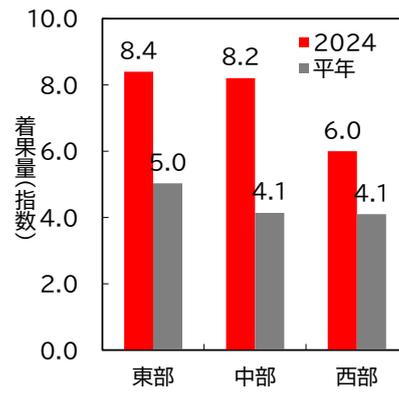


図2 ヒノキ・スギ着果量(地域別)

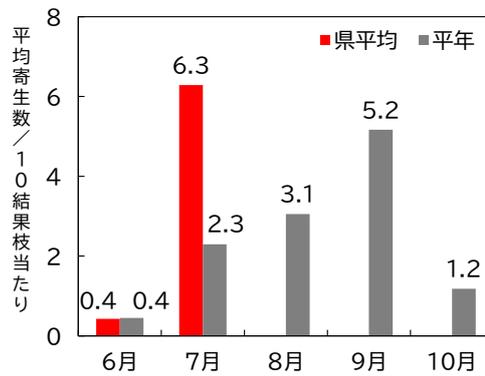


図3 ヒノキ・スギ球果における果樹カメムシ類の寄生数



図4 果樹カメムシ類とその被害果実

【問合せ先】 静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘 678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

ホームページ <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/1058658/boujo/index.html>

